

令和元年度事業報告

少子高齢化及び人口減少の進展、家族の在り方の変容、住民同士のつながりの希薄化が進行し、経済的困窮などを背景とした社会的孤立の問題などもある中、福祉課題は多種多様化しており、既存のサービスだけでなく「制度の狭間に起きる課題」も顕在化してきています。

今後は、このような課題解決のため、地域住民が「我が事」としてとらえ、「丸ごと」受け止め、主体的に取り組んでいく地域づくりが求められています。

このようななか、本会では門川町が策定する「第3次地域福祉計画」にあわせ、「第5次地域福祉活動計画」を一体的に策定した「地域福祉総合計画」として、今後の地域福祉の方向性と活動方針を定めました。

地域福祉事業においては、各地区福祉推進委員会を基本とし、福祉関係団体、行政などの関係機関との連携・協働により積極的に取り組んでまいりました。

また、在宅福祉事業においては、介護保険制度の厳しい経営状況の中、利用者の自立支援を基本理念とした質の高いサービスを目指し、居宅介護、通所介護、訪問介護事業を推進してきました。地域包括支援センターにおいても、地域包括ケアシステムの構築に向けて、総合相談、介護予防事業等を積極的に実施してきました。

引き続き、「やすらぎと生きがいのあるみんなで創る共生社会のまちづくり」の実現に取り組んでいきます。

以下、令和元年度の事業計画に掲げた具体的事業等について報告いたします。

1. 活動推進状況

() 内は昨年度

1) 地域福祉活動の推進

地域福祉係では、安心安全な地域づくりをめざし、各種事業の推進に努めました。

(1) 地域福祉総合計画〔第3次地域福祉計画・第5次地域福祉活動計画〕の策定

・地域福祉総合計画策定の推進

会議名	門川町地域福祉総合計画策定委員会
期日	第1回 令和元年11月13日(水) 第2回 令和2年2月28日(金) 第3回 新型コロナウイルス感染拡大に伴い文書審議
場所	門川町役場
参加者	策定委員(学識経験者、福祉施設代、自治会、福祉団体、行政、教育関係) 委員総数15名 職員:事務局長(策定委員)、事務局職員2名
内容	第3次門川町地域福祉計画の策定について 第5次門川町地域福祉活動計画の策定について

会 議 名	「第5次門川町社会福祉協議会 地域福祉活動計画」策定に伴う職員委員会
期 日	第1回 令和元年11月13日(水) 第2回 令和元年11月28日(木) 第3回 令和元年12月11日(水) 第4回 令和2年 2月 7日(金) 第5回 令和2年 2月13日(木)
場 所	門川町総合福祉センター
参 加 者	局長、次長、各部署主任、地域福祉係
内 容	第5次門川町社会福祉協議会地域福祉活動計画の策定について

・社会福祉協議会事業評価の実施

実 施 日	令和元年6月12日(水)	令和元年6月27日(木)
場 所	門川町総合福祉センター	門川町総合福祉センター
参 加 者	理事6人、監事2人	評議員7人、監事 2人
内 容	平成30年度事業報告及び収支決算について	

(2) 地域での見守り交流活動支援

①地区福祉推進委員会活動の推進

地区福祉推進委員長 43人

リ ー ダ ー	地区福祉推進委員長(地区会長)
活 動 者	地区福祉推進委員、民生委員児童委員 ・小地域ネットワーク活動に理解と熱意のある方 (概ね15~20世帯に1名程度で委嘱、3年間で1期とし 令和元年度は一部改選) 地区福祉推進委員数 436人

ア 地区福祉推進委員研修および座談会の実施

期 間	令和元年7月1日(月)~9月20日(金)
場 所	地区公民館(39箇所 43地区で実施)
参 加 者	参加者 371人(推進委員、地区役員、地域住民) 内 地区福祉推進委員 338人/436人(77.5%)
内 容	・消費生活詐欺について ・各地区の社会資源等の把握(地域アセスメント情報シート作成) ・講義「健康について(高血圧)」(門川町役場保健師)

イ 地区福祉推進委員長会の開催（年2回）

実施日	1回目：令和元年5月24日（金） 2回目：令和元年9月25日（水）
場所	門川町総合福祉センター
参加者	1回目：41人 2回目：38人
内容	1回目：新任研修・・・福祉ネットワーク事業の基礎 他 全体研修・・・助成事業、社協事業、地区福祉推進委員 座談会、地域包括支援センター事業他 2回目：「消費生活詐欺について」 宮崎県消費生活センター

ウ 小地域見守り活動の充実

- ・安心カード登録者（ひとり暮らし高齢者、高齢者のみの世帯等）
台帳一斉更新（令和元年9月配布）
※変更があった場合は随時更新

エ 活動費の助成

○地区福祉推進委員会活動費助成

42地区 852,000円（42地区 846,000円）

○地区自主活動支援 年3回以上の活動に対し年間30,000円助成

42地区 1,260,000円（42地区 1,260,000円）

○年末年始事業助成

32地区 314,922円（32地区 320,000円）

オ 福祉推進大会の開催【社協主催】

実施日	令和元年7月21日（日）午前9時30分から
場所	門川町総合文化会館
テーマ	住民参画による人にやさしい福祉の町づくりをめざして
参加者	町民、関係役員、地区福祉推進委員、福祉団体他 320人
内容	開会式典、表彰、講演「絆の再編～今、私たちに出来ること～」 講師 南九州大学 人間発達学部 子ども教育課 教授 若宮 邦彦氏

カ 福祉バス運行事業【町委託事業】

福祉バス運行を実施し、高齢者の生きがいがづくり及び地区福祉推進活動支援を行いました。

運行種別		回数（回）	利用者（人）
福祉バス 運行	県内	18（24）	368（505）
	県外	10（8）	215（180）
合計		28（32）	583（685）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月中旬から3月の利用無し。

キ 備品貸出

項目	貸出件数	備品名
備品貸出	51 (52)	レクリエーション備品、音響設備他
テント貸出	24 (51)	簡単テント 15 件、77 張 (33 件、118 張) 通常テント 9 件、47 張 (18 件、62 張) キャンプテント 0 件、0 張 (0 件、0 張)

②福祉意識の高揚

住民への広報活動やイベントを通し、福祉意識の高揚を図りました。

ア 第26回福祉ふれあい祭り2019の開催

実施日	令和元年10月20日(日)
場所	門川町総合福祉センター
テーマ	「思いやり 小さな一歩で ひろがる福祉」 西門川中学校3年 濱田 優菜 さん
参加者	町民、福祉団体、福祉施設および関係者 1,892人
内容	ふれあいステージ、ふれあい笑店街、福祉体験コーナー、 赤い羽根共同募金コーナー、キッズコーナー、ふれあい作品展、 健康チェックコーナーなど

イ 福祉推進大会の開催【再掲】

ウ 情報提供の充実

- ・社協だよりの発行(第292号～第303号)
配布先 町内全世帯、福祉施設関係機関 毎月6,450部作成
- ・町内掲示板、班回覧の活用
本会ホームページでの情報提供
- ・エフエムひゅうがラジオ出演「福祉と健康ライフ」
年間10回出演(社協事業等に関する情報提供)

③生活支援コーディネーター事業【町受託事業】

ア 社会資源の整理とニーズの把握

各地区の社会資源等の把握(地域アセスメント情報シート作成)【再掲】

イ 門川町支え合う地域づくり協議体(サービス協議体)の企画・運営協議会の在り方について福祉課と協議を行った。

ウ サービス開発に関する基盤づくり

○研修の参加

実施日	令和元年7月2日(火)
場所	宮崎県福祉総合センター
参加者	生活支援コーディネーター2人
内容	生活支援コーディネーター連絡会 「大分県国東市の取り組みについて」

実施日	令和元年10月31日(木)～11月1日(金)
場所	大分県国東市
参加者	生活支援コーディネーター1人
内容	「大分県国東市の取り組みについて」(先進地視察)

実施日	令和2年1月23日(木)
場所	日向市役所
参加者	生活支援コーディネーター2人
内容	県北地区生活支援コーディネーター連絡会

実施日	令和2年1月29日(水)
場所	県電ホール(県企業局)
参加者	生活支援コーディネーター2人
内容	移動支援に関する研修会 ～交通・福祉の法令と制度を学ぶ～

○認知症高齢者支援に関する事業(徘徊模擬訓練の運営)

実施日	令和元年12月1日(日)
場所	東栄町
参加者	東栄町地区住民、消防、福祉事業所、社協、役場 79人
内容	徘徊者役の送迎、訓練の写真及びビデオ撮影 事前準備及び打合せ

エ 生活支援ボランティア育成研修会の開催

令和2年2月末から3月初旬に計3回の研修を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

オ 地域ケア会議への参加

実施日	令和元年 6月19日(水)	令和元年 7月17日(水)
	令和元年 8月21日(水)	令和元年 9月18日(水)
	令和元年10月16日(水)	令和元年11月20日(水)
	令和元年12月18日(水)	令和元年 1月22日(水)
場所	門川町役場南館2階会議室	
参加者	コーディネーター2人 延べ8人	
内容	地域ケア会議助言者	

(3) 総合相談事業の推進【町受託事業】

常設相談・無料弁護士相談を実施し、町民が抱えている心配ごとや専門的な事案に対し総合的に対処し、問題解決への相談に応じました。

	開設日	開設時間
常設相談	月～金曜日	午前9時～午後4時まで
無料弁護士相談	毎月第3火曜日	午後1時30分～午後4時30分まで

- ・相談件数 417件 (425件) []内は弁護士相談
 内訳 常設相談件数 350件 (374件)、弁護士相談件数 67件 (51件)

相談内容	件数	相談内容	件数
生計	18 [2]	人権・法律	91 [22]
年金	0 [0]	財産	100 [27]
職業・生業	6 [0]	事故	2 [1]
住宅	14 [4]	児童母子福祉	0 [0]
家族	18 [3]	教育・青少年	3 [0]
結婚	1 [0]	心障児(者)福祉	0 [0]
離婚	22 [6]	母子・父子福祉	0 [0]
保健・衛生	2 [0]	老人福祉	101 [0]
医療	4 [0]	苦情	19 [1]
精神保健	4 [0]	その他	12 [1]
合計			417 [67]

・総合相談センターだよりの発行 (年10回 社協だよりの)

(4) 生きがいきづくり・介護予防事業の実施

①ふれあい交流事業の実施【町補助事業】

(門川町総合福祉センター「ふれあいの館」の開放)

送迎車を運行し、高齢者の生きがいきづくりを行いました。

回数(回)	利用者(人)
43 (47)	574 (729)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年3月は中止

②福祉バスの運行事業【再掲】

③高齢者スポーツ活動助成

グラウンドゴルフ協会、四半的協会が開催するスポーツ大会に助成を行いました。

2団体 12,000円 (2団体 12,000円)

(5) 住民主体のボランティア活動の推進

①ボランティアセンター事業の推進

○ボランティア活動者

項目	人数	備考
ボランティアセンター把握者数	1,764 (2,123)	高齢者クラブ連合会、地区福祉推進委員会、子ども見守りネットワーク活動者、災害ボランティア関係活動者他
ボランティアセンター登録者数	462 (561)	・ボランティア連絡協議会会員 17団体 357人、個人 8人 ・福祉施設訪問ボランティア 97人

ア ボランティアに関する検討会の参加

- ・ボランティアに関する検討会の開催（年4回）
- ・福祉教育に関する検討会への参加（教育の絆推進懇話会）（年3回）

イ ボランティア相談・派遣

相談件数（件）	24（15）
活動件数（件）	47（16）
活動者数（人）	247（183）

ウ ボランティア活動に関する情報提供の充実

- ・社協だよりの発行（第292号～第303号）【再掲】
配布先 町内全世帯、福祉施設関係機関 毎月6,450部作成
- ・町内掲示板、班回覧の活用【再掲】
本会ホームページでの情報提供【再掲】

○収集ボランティア活動（ボランティアセンター受付分）

項目	実績数（kg）
ペットボトルキャップ	1,110（950）
リングプル	150（50）

※ペットボトルキャップは241人分のポリオワクチンの購入に充てられます。

②福祉教育の推進

ア 社会福祉普及推進校の指定

門川小学校、草川小学校、西門川小学校、五十鈴小学校、門川中学校、西門川中学校、門川高等学校（全7校）

イ 社会福祉普及推進校助成の実施

- ・活動費助成（1校につき年間上限40,000円で助成 事業申請型）

助成額（総額）	256,417円
内 容	地域の子ども・高齢者との交流、子ども見守りネットワーク事業、施設利用者との交流、障がい者との交流、技能体験学習、環境美化活動、福祉体験学習、募金活動など

ウ ふくし体験サポーター養成研修の開催（ボランティア連絡協議会と共催）

実施日	令和元年8月21日（水）
場 所	ふれあい地球館
参加者	ボランティア連絡協議会会員、門川高校生 30人
内 容	講義：傾聴ボランティアについて（講師 社協職員） 実技：ふれあい地球館利用者との交流

エ 福祉体験学習の支援

実施日	令和元年6月19日(水)
場所	門川中学校
参加者	門川中学校1年生 136人 講師 61人
内容	高齢者との交流体験(ニュースポーツ、料理、裁縫、園芸、浴衣の着付)、福祉体験学習(車イス・アイマスク・手話・点字)講師の派遣調整

実施日	令和元年10月28日(月)
場所	草川小学校
参加者	草川小学校1年生 62人
内容	昔遊び体験の講師派遣調整

実施日	令和元年11月5日(火)
場所	五十鈴小学校
参加者	五十鈴小学校1年生 48人
内容	昔遊び体験の講師派遣調整

実施日	令和元年11月14日(木)
場所	門川小学校
参加者	門川小学校5年生 69人
内容	車イス体験、アイマスク体験、手話体験の指導及び講師派遣調整

実施日	令和元年11月28日(木)
場所	門川小学校
参加者	門川小学校1年生 71人
内容	昔遊び体験の講師派遣調整

実施日	令和2年2月12日(水)
場所	草川小学校
参加者	草川小学校3年生 55人
内容	車イス体験、アイマスク体験の講師派遣調整

オ 福祉センター見学受入

実施日	令和元年10月3日(木)
場所	門川町総合福祉センター
参加者	草川小学校3年生 56人
内容	社会福祉協議会の事業について、福祉センター見学

実施日	令和元年11月29日(金)
場所	門川町総合福祉センター
参加者	草川小学校3年生 55人
内容	デイサービス利用者との交流

カ 実習生の受入

実施日	令和元年8月19日(月)～9月20日(金)の内17日間
場所	門川町総合福祉センター
参加者	九州保健福祉大学生 3人
内容	地域福祉係業務の実習

③子ども見守りネットワーク事業の推進

児童・生徒の安心・安全な地域づくりを目的として事業を行いました。

ア 子ども見守りネットワーク推進会議の開催

委員数(各関係機関、団体代表) 43人

・子ども見守りネットワーク推進会議の開催

実施日	令和元年7月29日(月)
場所	門川町総合福祉センター
参加者	委員 34人
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・説明「日向警察署管内の犯罪発生状況と子どもの被害について」 ・経過報告と臨時休校等の連絡体制について <p><研修>安心で安全なまちづくりアドバイザー派遣事業 NPO法人ハートム 初鹿野 聡氏</p>

イ 子ども見守り活動の広報の充実

社協だよりによる広報

ウ 登下校時の見守り活動の実施

見守り登録者への更新案内 令和元年5月

見守り登録者数 427人(430人)

エ 青色回転灯装備車による巡回パトロールの実施

入学、新学期時のパトロール実施

町と連携し、夜間パトロールを週に1回

(午後4時30分から午後6時30分まで実施)

④災害ボランティアに関する事業の推進

ア 災害ボランティア運営研修会の開催 ※門川町民児協との共催

実施日	令和2年2月20日(木)
場所	門川町総合福祉センター
参加者	民生委員児童委員、関係職員 45人
内容	災害ボランティアセンターの機能について 災害支援と民生委員活動について

イ 災害時要援護者台帳の更新(令和元年9月)

ウ 災害ボランティアの啓発・広報（年1回）

⑤住民参加型在宅福祉サービス「たんぼぼ会」

住民相互の支えあい・たすけあい活動を行いました。

・サービス提供状況 協力会員 8人（7人） 利用会員 30人（35人）

区分	実利用人数（人）	派遣回数（回）	派遣時間（時間）
家事援助	30（35）	626（638）	880.5（876.5）
身体介護	0（0）	0（0）	0（0）
育児支援	0（0）	0（0）	0（0）
合計	30（35）	626（638）	880.5（876.5）

（6）関係機関・団体とのネットワーク形成

①福祉団体の育成支援事業の推進

ア 福祉団体、ボランティア団体の育成・支援

事務局業務

民生委員児童委員協議会、高齢者クラブ連合会、ボランティア連絡協議会、事務局業務

団体名	活動内容
民生委員児童委員協議会	①総会、定例会の実施 毎月 第3木曜日 ②正副会長会の開催 年5回 ③運営委員会の開催 年2回 ④専門部会の開催 年4回 ⑤監査の実施 年1回
高齢者クラブ連合会	総会（年1回）、理事会（5回） 会長・女性部長合同会（年4回） 会計合同会（1回）、会員研修会（5回） 町高齢者クラブ大会（年1回） 町内中学校地域学習・小学校昔の遊び（年4回）
ボランティア連絡協議会	理事会（4回）、会員研修会（年5回）、 環境美化活動（年1回）
宮崎県共同募金会 門川町共同募金委員会	委員会（年2回）、街頭募金活動（年2回）

イ 活動費助成

福祉団体、当事者団体等の育成および支援を目的に、活動費助成を行いました。

4団体 160,000円（5団体 184,000円）

No	団体名	事業内容	助成額（円）
1	高齢者クラブ連合会	単位クラブ活動支援	80,000
2	ボランティア連絡協議会	会員研修会、情報誌発行	35,000
3	母子寡婦福祉連絡協議会	母子寡婦福祉交流活動	25,000
4	手話サークル	聴覚障がい者との交流会	20,000

②関係機関との連携および会議の開催

- ア 子ども見守りネットワーク推進会議【再掲】
- イ 災害ボランティア推進協議会【再掲】
- ウ 福祉施設との連携および活動支援

③福祉施設合同事業の実施

- ア 歳末ふれあい餅つき交流会（地球館主催事業）

実施日	令和元年12月20日（金）
場所	高齢者福祉複合施設 ふれあい地球館
参加者	165人 【施設】草川地区福祉施設利用者（高齢者・障がい者・児童） 【ボランティア】民生委員児童委員、婦人団体連絡協議会、 門川温泉心の杜職員、ふれあい地球館職員、社協職員
内容	もちつき、鏡餅づくり、ぜんざい会、合唱

④日向・東臼杵ブロック社協連協事業への参加

- ・監査（1回目）

実施日	平成31年4月12日（金）
場所	門川町総合福祉センター
参加者	日向・東臼杵ブロック社協連協監査 5人（内 本会1人参加）
内容	平成30年度事業報告及び決算監査

- ・理事会（1回目）

実施日	平成31年4月19日（金）
場所	日向市総合福祉センター
参加者	日向・東臼杵ブロック社協連協理事及び監事等11人（内本会2人参加）
内容	平成30年度事業報告及び決算報告について 平成31年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

- ・理事会（2回目）

実施日	令和元年9月18日（水）
場所	日向市総合福祉センター
参加者	日向・東臼杵ブロック社協連協役員等10人（内 本会2人参加）
内容	職員交流会及び職員研修会について

- ・職員研修会（1回目）

実施日	令和元年11月18日（月）
場所	椎葉村役場3階大会議室
参加者	日向・東臼杵ブロック社協連協職員37人（内 本会2人参加）
内容	「生活支援コーディネーター研修会」

・職員研修会（2回目）

実施日	令和元年12月13日（金）
場 所	門川町総合福祉センター
参加者	日向・東臼杵ブロック社協連協職員33人（内 本会7人参加）
内 容	・活動事例発表（美郷町生活支援活動団体 渡川マンマ） ・軽スポーツ（左近太郎）、研修終了後、情報交換会

（7）低所得者支援および日常生活支援

①門川町成年後見事業

ア 成年後見センターかどがわの運営

相談件数	5件
------	----

イ 成年後見センターかどがわ運営委員会の開催

○運営委員会

新型コロナウイルス感染拡大により運営委員会は中止。

○監査

実施日	令和元年12月23日（月）
場 所	門川町総合福祉センター
参加者	運営委員長、副委員長、事務局職員2人
内 容	・受任者2人の支援・金銭管理の監査 ・成年後見センターかどがわの運営について

ウ 受任と支援

実利用者数	新規受任者数	解任者数	延支援回数
3人（2人）	1人（1人）	0人（0人）	24回（16回）

エ 人材育成（法人後見支援員の育成、専門員研修の参加）

○専門員研修

期 日	令和元年6月3日（月）
場 所	延岡市役所
参加者	担当職員2人
内 容	成年後見事業の取り組み状況について

期 日	令和元年9月3日（火）
場 所	門川町総合福祉センター
参加者	担当職員1人
内 容	成年後見に関する研修会 事例発表「門川町の取り組みについて」

期 日	令和2年2月5日（水）
場 所	延岡市役所
参 加 者	担当職員2人
内 容	家事関係機関との連絡協議会

期 日	令和2年2月27日（木）
場 所	宮崎県福祉総合センター（宮崎市）
参 加 者	担当職員1人
内 容	相談支援研修会「日常生活自立支援事業の支援事例をとおして」

○法人後見支援員の育成

期 日	令和元年12月26日（木）
場 所	門川町総合福祉センター、金融機関、病院
参 加 者	実習受入人数1人、担当職員1人
内 容	法人後見支援員養成研修 修了者を対象とした実習受入

②資金貸付事業

ア たすけあい金庫貸付事業【本会自主事業】

○相談件数、貸付額

相談件数	申請件数	決定件数	金 額(円)
18 (24)	9 (10)	9 (10)	390,000 (420,000)

イ 生活福祉資金【県社協受託事業】

○相談件数、貸付額

相談件数	相談延件数	申請件数	決定件数	金 額 (円)
12(14)	18 (21)	2(1)	2(1)	1,967,000(100,000)

③日常生活自立支援事業の実施【県社協受託事業】

認知症、知的障がい者、精神障がい者などの判断能力が不十分な方、および生活に不安のある高齢者等が、地域において安心して自立した生活が送れるよう支援しました。

ア 専門員の配置 1人

イ 生活支援員の配置 3人 令和2年3月31日現在

実利用者数	新規契約者数	契約解除数	延支援回数
26人(30人)	4人(5人)	4人(5人)	590回(618回)

④生活困窮者支援に関する取り組み

ア 生活困窮者緊急支援事業（フードバンク）

生活困窮者から相談を受け、必要な方に食糧の提供を行いました。

相談件数	申請件数	実利用人数
49件(22件)	45件(22件)	21人(18人)

イ 関係機関会議の参加

ウ 法外援護事業

行路人や浮浪者など、法的に援助・支援

1回 500円支給（窓口 門川町役場福祉課）

0人 0円 (2人 1,000円)

⑤社会福祉法人連携支援事業【県委託事業】

ア 参加社会福祉法人、福祉団体等

社会福祉法人友隣会、社会福祉法人誠育会、社会福祉法人五十鈴福祉会、
社会福祉法人門川町社会福祉協議会、門川町ボランティア連絡協議会、
門川町民生委員児童委員協議会

イ 実施事業

○生活支援品支給事業（フードバンク等事業）【再掲】

○行事等における託児ボランティア事業

・実績数

活動件数	13回
利用児童数	延べ103人
ボランティア活動者	延べ 54人

・利用した学校・機関、行事等

機関・団体名	行事等
門川小学校	入学式、入学説明会
草川小学校	参観日、PTA総会、入学説明会
門川中学校	入学式、参観日、文化祭準備、卒業式
PTA連絡協議会	PTA研修大会
社会教育課	子育て関連研修会3回

○在宅高齢者等宅清掃活動

対象世帯	件数	備考
高齢者世帯	5件	3件
障がい者世帯	3件	2件
子どもが属する世帯	2件	2件
合計	10件	7件

※備考は内フードバンク利用者数

ウ 社会福祉法人連携支援事業研修会

実施日	令和2年2月12日（水）
場所	宮崎市福祉総合センター
参加者	1人
内容	各市町村事業報告

⑥福祉用具貸出事業（日常生活支援）（単位：台）

福祉用具	通常貸出	短期貸出
電動ベッド	22 (20)	2 (2)
車椅子	23 (27)	26 (27)
その他	6 (4)	21 (17)
合計	51 (51)	49 (46)

(8) 子育て支援事業の推進

放課後児童対策事業（児童クラブ）【受託事業】 ※登録児童数は令和2.3.31現在

校区名	実施場所	開館日数 (日)	登録児童数 (人)	延べ利用者数 (人)
門川小学校区	中央公民館	286	39	4,507
五十鈴小学校区	五十鈴小学校	285	30	2,813
西門川小学校区	西門川児童館	183	2	324
合計			71	7,644

(9) 障がい者福祉サービス

①コミュニケーション支援事業（手話通訳派遣事業）【受託事業】

聴覚障がい者に手話通訳者を派遣できるよう職員を配置しています。

相談件数	派遣回数(回)	利用者(人)	派遣人数(人)
13 (5)	6 (5)	1 (4)	9 (11)

※上記とは別に担当職員による手話通訳が13件

②専門ボランティアの育成支援

○手話勉強会の支援

活動助成金の支給、勉強会場貸出しを行いました。

- ・助成額 60,000円
- ・会場貸出

実施回数	41
延べ参加者数(人)	781

○点訳活動支援

定例会場貸出（社協だよりの点訳活動 原則として毎月第2水曜日）

③点字版「社協だよりの発行（協力 門川点訳サークル「点とうむし）」

配布先 町内視覚障がい者 2世帯 12回（2世帯 12回）

2) 在宅福祉活動の推進

在宅福祉系では介護保険法および障害者総合支援法等の制度事業および町からの受託事業を実施し、利用者の在宅生活の安定化、機能維持、介護度改善、家族介護負担の軽減を目的に事業を進めました。

(1) 居宅介護支援事業の実施

介護支援専門員が相談援助、ケアプラン作成、サービス調整等を行いました。

- ・介護支援専門員 4人 (4人)
- ・実利用人数 164人 (151人)
- ・居宅介護支援延べ件数

介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
404 (423)	525 (487)	265 (222)	106 (94)	24 (53)	1,324 (1,279)

(2) デイサービス事業の実施 (開所日数：311日)

①介護保険のデイサービス

介護予防通所介護事業及び従来の通所介護事業を実施し、機能維持、日常生活支援、家族支援を行いました。

ア 通所介護事業

・利用状況

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
実利用者数	27 (26)	24 (21)	14 (10)	6 (5)	1 (2)	72 (64)
延利用者数	2,410 (2,612)	1,737 (1,837)	1,167 (1,271)	766 (370)	185 (309)	6,265 (6,399)

イ 介護予防・日常生活支援総合事業(通所型サービス)

・利用状況

	要支援1	要支援2	事業対象者	合計
実利用者数	4 (5)	19 (12)	21 (10)	44 (27)
延利用者数	80 (111)	1,533 (1,015)	954 (663)	2,567 (1,789)

②基準該当生活介護事業の実施

障がい者の社会参加や自立促進、生活の質の向上等を目的に実施しました。

・利用状況

実施日数	実人員	延利用者数	1日平均利用者数
105日 (135日)	1 (1)	105 (135)	1 (1)

③事故・苦情等の状況

月	対象者	内容	対応
5月	女性	ダイルूमトイレで転倒しているのを発見。	自宅にて様子観察、家族に報告謝罪する。
10月	女性	センター玄関にてバランスを崩し転倒。	自宅にて様子観察、家族に報告謝罪する。
11月	男性	入浴時チェアに移乗時、膝折れする。	打撲・痛み等、確認し家族に報告謝罪する。
令和2年 1月	女性	職員が洒布していたペットボトルの湯たんぽで皮膚に低温やけど。	様子観察し赤みが引く家族に報告謝罪する。
1月	女性	送迎時。利用者を一人にして転倒。	体調に変化なし。家族に報告謝罪する。

(3) ホームヘルプサービス事業の実施（開所日数：366日）

①介護保険の訪問介護事業

介護予防訪問介護事業及び要介護者を対象とする訪問介護を実施し、利用者の家事援助・身体介護を行いました。

ア 訪問介護事業

・実利用者数 22人（30人）

・利用状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
延派遣回数	1,236 (1,152)	1,715 (1,751)	107 (284)	148 (136)	175 (404)	3,381 (3,727)
延派遣時間	1,250 (1,122)	1,647 (1,707)	107 (279)	129 (136)	176 (352)	3,309 (3,596)

イ 介護予防・日常生活支援総合事業(訪問型サービス)

・実利用者数 33人（35人）

・利用状況

	要支援1	要支援2	事業対象者	合計
延派遣回数	55 (229)	1,442 (1,231)	802 (739)	2,299 (2,199)
延派遣時間	55 (227)	1,437 (1,229)	801 (738)	2,293 (2,194)

②障害者総合支援法のホームヘルプサービス

居宅介護事業、同行援護事業、移動支援事業

障がい者に対しホームヘルパーを派遣し、在宅の生活を支援しました。

【居宅介護】

実利用者人員	延派遣回数	延派遣時間
8 (13)	1,873 (1,951)	1,348 (1,472)

【同行援護】

実利用人員	延派遣回数	延派遣時間
6 (5)	78 (91)	277 (351)

【移動支援】 地域生活支援事業

実利用人員	延派遣回数	延派遣時間
2 (2)	28 (25)	74 (64)

③事故・苦情等の状況

月	性別	内容	対応
4月	男性	夜の眠剤を昼にセットする。	確認をしながら確実に薬をセットする。
6月	女性	入浴時の昇降機を手すり替わりに使い顔面を強打する。	家族に謝罪する。怪我のない支援に心掛ける。
8月	男性	派遣ミス ヘルパーの時間の勘違い。	シフト確認の徹底。
令和2年 2月	男性	派遣ミス ヘルパーの時間の勘違い。	シフト確認の徹底。

(5) 実習の受入

事業名	実人数	実日数	受講生・実習生
(介護予防) 通所介護事業	6	27	門川高等学校
	4	8	門川中学校
(介護予防) 訪問介護事業	3	3	九州保健福祉大学
居宅介護支援事業	2	9	介護支援専門員研修
	1	3	九州保健福祉大学

3) 地域包括支援センター事業推進

介護サービス・介護予防サービス・保健福祉サービス、日常生活支援などの総合相談窓口として様々な問題解決に向け相談支援や広報啓発等を行いました。また、高齢者等が住み慣れた地域で生きがいを持ち、自立した生活や活動に取り組み続けられるように介護予防事業の推進や認知症対策にも積極的に取り組みました。

(1) 一般介護予防事業（新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月4日より中断）

①介護予防教室

実施地区数	6地区／7回（9地区 / 11回）
場 所	各地区公民館
参 加 者	134人（153人）
内 容	講話（財産相続について、料理教室、心肺蘇生法、介護保険制度等） 講師：管理栄養士、日向消防署職員、ボランティア講師、包括職員等

②いきいき百歳体操

定例実施地区 40地区／42会場（39地区）

実施者数 延べ1810人（988人）

ア 百歳体操サポーター養成研修

実 施 日	参 加 者	場 所	内 容
令和元年 8月 6日（火）	37人（57人）	かどがわ温泉 心の杜	講義及び実技 講師：町福祉課職員、 日向病院理学療法士
8月 9日（金）	40人（54人）		

両日参加者 20人（サポーター登録者累計 271人）

イ 百歳体操サポーター交流会（スクエアステップフォローアップ講習会合同）

実施日	令和2年2月21日（金）
場 所	クリエイティブセンター門川
参加者	各地区サポーター 81人
内 容	・研修「スクエアステップフォローアップ（実技）」 講師：鹿屋体育大学 中垣内真樹氏

③いきいきサロン活動支援

いきいきサロンフォローアップ

実施日	各地区の希望日 3地区 3回（17地区 23回）
場 所	各地区公民館
参加者	各地区サロン参加者 延べ93人（164人）
内 容	体操指導、レクリエーション指導他

④ノルディックウォーク教室

ア 固定教室

延べ人数合計194人(401人)

実施日	場 所	参加者
①令和元年10月～12月	・中山(10回) ・大内原(7回)	実人数13人 延べ人数93人 実人数6人 延べ人数31人
②令和2年1月～2月	・大丸(5回) ・宮ヶ原(3回)	実人数11人 延べ人数44人 実人数10人 延べ人数26人

イ 体験教室

実施回数	延べ22回
場 所	13会場
参加者	延べ192人

ウ 出前教室

実施回数	延べ5回
場 所	2会場
参加者	延べ74人

エ 自主サークル支援

実施日	月1回(6会場) 延べ47回
場 所	海浜公園、三ヶ瀬、小松、小園、平城東、南ヶ丘
参加者	延べ373人
内 容	ノルディックウォークのフォローアップ

オ ウォークラリーイベント

実施日	場 所	参加者
平成31年4月26日(金)	心の杜多目的広場	33人
令和元年6月18日(火)	牧山	4人

⑤スクエアステップ

ア 地区訪問

実施日	地区の希望する日時 年間117回(44回)
場 所	各地区公民館等 32会場(31会場)
参加者	参加延べ人数 1014人(444人)
内 容	スクエアステップの紹介、体験

イ フォローアップ講習会(百歳体操サポーター交流会合同)【再掲】

実施日	令和2年2月21日(金)
場 所	クリエイティブセンター門川
参加者	各地区サポーター 81人
内 容	・研修「スクエアステップフォローアップ(実技)」 講師：鹿屋体育大学 中垣内真樹氏

ウ サポーター養成講座

実施日	場所	参加者	内容
令和元年 9月24日(火)	クリエイティブ センター門川	延べ受講者数 128人 (内全課程修了者28人)	スクエアステップの基礎、 サロン運営、 実施地区の紹介
10月1日(火)			
10月8日(火)			

⑥パワーリハビリ教室

	期間 回数	二次予防 対象者	要支援認 定者	要介護 認定者	一般 高齢者	障がい	合計
通常コース (8クール)	3ヶ月 週2回	37 (37)	4 (8)	1 (1)	18 (30)	0 (0)	60 (76)
フォローアップ (2クール)	6ヶ月 週1回	12 (1)	1 (1)	0 (0)	3 (16)	0 (0)	16 (18)
地域開放型	—	—	—	—	63 (47)	—	63 (47)

*サポーター数4人(4)

⑦疾患別既往者サロン(自己管理プロジェクト)

実施日	場所	参加者	内容
令和元年 10月4日(金)	耳川広域森林組合 日向支所	23人	講義、体力測定及びフォロー アップ 講師 ・日向病院理学療法士 ・門川町管理栄養士・保健師 ・地域包括支援センター職員
11月6日(水)	株式会社 松澤組	16人	
11月24日(日)	NPO法人 いきいき会	20人	
令和2年 2月13日(木)	平城西地区	8人	

⑧参加者の個別機能評価(体力測定)

実施日	地区の希望する日
場所	各地区公民館(42地区/39会場)
参加者	65歳以上各地区希望者 412人(535人)
内容	基本データ(身長、体重、血圧、脈) 握力、3m往復歩行、長座位体前屈、開眼片足立ち、5m歩行

⑨介護予防活動支援事業(現役で頑張り隊プロジェクト 4回)【新規】

実施日	令和元年6月26日(水)
場所	クリエイティブセンター門川
参加者	109人
内容	○講演「NPO法人いきいき百歳応援団のあゆみ」 ～百歳体操で目覚めた住民力～ ○グループ討議:「地域の元気高齢者を支えていくために、こんなの門川にあ ったら…こんなことやれたらいいよネ」

実施日	令和元年7月10日(水)
場 所	門川町総合福祉センター
参加者	40人
内 容	テーマ「門川町の課題を住民活動で解決しよう！」

実施日	令和元年8月20日(火)
場 所	小林市役所 みどり会館、小林市社会福祉協議会
参加者	15人
内 容	視察研修「小林市の取り組みについて」 (地域サロン活動・買い物サロン活動・貯筋体操に関する概要)

実施日	令和元年9月4日(水)
場 所	門川町総合福祉センター
参加者	23人
内 容	グループ討議「門川町に必要な住民活動とは何だろうか？」

(2) 認知症施策支援事業

①サポーター養成講座の開催

実施日	場 所	参加者
令和元年 5月31日(金)	門川町役場南別館	19人
令和元年 9月18日(水)	日向病院	40人
令和元年10月23日(水)	県立門川高等学校	31人
令和元年11月20日(水)	東栄町公民館	24人
令和2年 1月27日(月)	門川町総合福祉センター	37人
合 計		151人

②認知症徘徊模擬訓練

実施日	令和元年12月1日(日)
場 所	東栄町
参加者	東栄町地区住民、消防、福祉事業所、社協、役場 79人
内 容	認知症徘徊者捜索訓練、通報訓練

③関係会議の参加

ア 門川町認知症地域支援推進委員会 毎月1回
認知症ケアパスの作成、サポーター養成講座、認知症カフェの検討等

イ 門川町認知症施策検討委員会・認知症組織合同会

実施日	平成31年4月15日(月)
場 所	門川町役場
参加者	門川町認知症施策検討委員、認知症初期集中支援チーム、 認知症地域支援推進員
内 容	認知症施策に関する協議

(3) 認知症初期集中支援事業

認知症初期集中支援 チームとの連携	初期相談対応 47人 (*延訪問回数 141回) 初期集中支援チームへの紹介6人 (会議参加17回)
----------------------	---

(4) 包括的支援事業

①高齢者等相談支援

○相談者件数 (延べ件数)

来所	訪問	電話	書面	その他	合計
278 (242)	765 (752)	1,402 (1,302)	99 (97)	537 (822)	3,081 (3,215)

*内夜間相談：延べ7件 (7)

○相談者内訳件数 (延べ件数)

本人	1,515 (1,681)	ケアマネ	129 (140)	医療関係	268 (310)
家族 (同居)	264 (339)	役 場	148 (128)	北部福祉 こどもセンター	4 (19)
家族 (別居)	315 (240)	事業所	199 (178)	その他	88 (60)
近 隣 者	44 (44)	民生委員	107 (76)	合 計	3,081 (3,215)

○相談内容別件数 (延べ件数)

身体に関すること	1,511 (1,256)
認知症に関すること	629 (499)
疾病に関すること	232 (275)
高齢者虐待に関すること	33 (96)
権利擁護に関すること	10 (28)
実態把握訪問	71 (140)
その他	595 (921)
合 計	3,081 (3,215)

②地域におけるネットワークとの連携及び支援

(再掲 地区福祉推進委員研修および座談会の実施)

実施日	令和元年5月29日(水)～9月20日(金)
場所	各地区公民館 43地区(39ヶ所)
参加者	371人(推進委員、地区役員、地域住民)
内容	各地区の社会資源の把握

③高齢者支援に関する情報発信

おとじま通信(社協だより)	毎月
ホームページ	随時更新
エフエムひゅうが出演	令和元年10月25日(金)

④関係機関との連携

ア 各種関係機関会議の参加

会 議	実施回数
地域密着型サービス運営推進会議	4事業所/11回
門川町地域ケア会議	8回
地域密着型サービス運営委員会	1回
門川町国民健康保険運営会議	3回
やっちみろや健康づくり運営協議会	1回
民生児童委員高齢者部会との意見交換会	1回

イ 介護支援専門員連絡会の開催

実施日	月1回
場所	門川町総合福祉センター
参加者	町内介護支援専門員、福祉課職員 延べ213人
内容	・事例検討等 9回 ・民生委員・児童委員との情報交換会 1回

ウ 介護サービス事業所向け研修会の開催

実施日	令和元年8月22日(木)
場所	門川町総合福祉センター
参加者	町内介護保険事業所職員 37人
内容	講義:「悪質商法から高齢者を守る」 講師:宮崎県消費生活センター

⑤権利擁護業務

ケース会議	2回 議題：高齢者虐待、認知症等
在宅高齢者等宅清掃活動	6回 対象者：高齢者、障がい者世帯等

(5) 介護保険事業

要支援1・2・総合事業対象者と認定された高齢者等に対してサービス計画を作成し、自立に向けた支援を行いました。

○介護報酬請求件数

	介護報酬請求延べ件数	内新規	自立実件数
介護予防支援	1,590 (1,444)	48 (47)	
介護予防ケアマネジメント	1,233 (1,227)	66 (54)	
合計	2,823 (2,671)	114 (101)	7 (8)

○特定福祉用具購入、住宅改修のみの利用者対応

	要支援1	要支援2	要介護	合計
特定福祉用具購入のみ	2 (4)	5 (2)	1 (0)	8 (6)
住宅改修のみ	3 (6)	14 (4)	8 (7)	25 (17)
福祉用具購入と住宅改修	3 (5)	5 (4)	4 (5)	12 (14)
合計	8 (15)	24 (10)	13 (12)	45 (37)

(6) 実習生の受け入れ

九州保健福祉大学 3人 各24日、宮崎県看護協会訪問看護研修 2人 各1日

4) 障害児・者相談支援事業の推進

(1) 障がい者相談支援事業の推進

障がい児・者が地域で自立した生活が継続できるよう、きめ細かい相談対応、関係機関との連携強化、また、障がいの理解・啓発を通して、障がい児・者の社会参加や円滑な地域生活をサポートできる環境作りに努めてまいりました。

○障がい種別相談件数 *その他：難病、手帳の未所持者等

相談件数		障がい種別(実)				
実	延べ	身体	知的	精神	児童	*その他
302 (86)	759 (240)	264 (70)	100 (59)	275 (83)	64 (23)	23 (4)

*令和元年度より実績算定変更（相談支援実績も加算）

○相談方法延べ件数

相談方法				
来所	訪問	電話	文書	その他
31 (17)	281 (57)	238 (121)	11 (4)	198 (23)

*「その他」：個別支援会議、関係機関との連携等

○会議等の開催

【個別支援ケース会議】

実施日	随時（年8回）
場所	門川町総合福祉センター、門川町役場他
参加者	関係機関 延べ46人
内容	虐待、経済、就労、家族、生活

○会議等への参加

会議名	参加回数（回）
日向・東臼杵郡障がい者自立支援協議会および部会	30（17）
日向・門川・入郷地区 就労・生活支援担当者会議	9（8）
門川町地域活動支援センター運営会議	5（6）
宮崎県障害者相談支援事業連絡協議会	0（3）
子ども発達支援ネットワーク会議	3（3）
地域移行支援事業担当者連絡部会	1（2）
県北地域障害者ふれあい合同面談会	0（1）
精神障がい者家族交流Cafe	0（1）
多機関連携会議	0（1）
その他	5（0）
合 計	53（42）

○研修会等への参加

開催日	研修名
令和元年 6月21日(金)	宮崎市基幹相談センター 視察
令和元年 6月28日(金)	成年後見制度市町村職員等研修
令和元年 7月11日(木)	指定障がい福祉サービス事業者等に対する説明会及び集団指導
令和元年 7月12日(金)	重症心身障がい児(者)に関する研修会
令和元年 7月29日(月)	子ども見守りネットワーク推進会議研修会
令和元年 8月3日(土)	発達障がいに関する研修会
令和元年 8月7日(水)	宮崎県相談支援従事者研修
令和元年 8月20日(火)	障がい者自立支援協議会 発達障がい部会 研修会
令和元年 8月22日(木)	門川町福祉サービス事業所向け研修会
令和元年 9月27日(金)	MSR県北ブロック研修会
令和元年10月7日(月) 12月2日(月)	障がい者虐待防止・権利擁護研修
令和元年12月5日(木)	九州地区障がい者相談支援事業合同研修会
令和元年12月11日(水)	障がい者就労支援出前講座
令和2年 2月14日(金)	MSR県北ブロック研修会

○障がいの理解・啓発に関する研修会の開催

実施日	参加者数	会場	内容
令和元年 12月20日(金)	30人	門川町 総合福祉 センター	「隣近所の困りごとを我がこととして考える ～障がいの理解から始め、今、私たちができること～」 講師：そうだんサポートセンター しらはまセンター長 久光博之 氏
令和2年 1月30日(木)	53人		
2月18日(火)	49人		

○計画相談

障がい福祉サービスを利用される方の相談支援、サービス計画の作成を行いました。
報酬請求延べ件数

計画件数	モニタリング件数
34(41)	54(66)

(2) 地域活動支援センター事業の実施

障がい者等を対象に生活訓練や創作活動を通して、日中活動の場を提供しました。

実施日数	実人員	延利用者数	一日平均利用者数
228(244)	3(4)	394(509)	1.7(2.1)

5) 法人経営体制の充実

(1) 役員会、評議員会の充実、職員の資質向上

①役員会、評議員会の開催

・理事会 5回

実施日	主な議題
令和元年 6月12日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業報告及び決算書について 次期理事、監事の選任について 定時評議員会の招集事項について
令和元年 6月27日(木)	<ul style="list-style-type: none"> 会長の選定について 副会長の選定について
令和元年10月11日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 決裁規程の一部改正について 令和元年度補正予算について 評議員会の招集事項について
令和元年12月 6日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 評議員会の招集事項について
令和2年 3月18日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 定款の変更について 職員給与規程の一部改正について 令和元年度補正予算について 令和2年度事業計画について 令和2年度予算について 積立金目的変更について 評議員会の招集事項について

・評議員会 4回

実施日	主な議題
令和元年 6月27日(木)	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業報告及び決算書について 次期理事、監事の選任について
令和元年10月23日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度補正予算について
令和元年12月20日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 理事の補欠選任について
令和2年 3月27日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 定款の変更について 令和元年度補正予算について 令和2年度事業計画について 令和2年度予算について

②監査・調査の実施

期日	監査名・実施者	監査内容
令和元年 5月14日(火) 15日(水)	外部監査 (木山会計事務所)	平成30年度決算監査
令和元年 5月31日(金)	社協監査 (社協監事)	平成30年度事業、 決算監査
令和元年 9月27日(金)	日常生活自立支援事業実施状況の 訪問調査(宮崎県社会福祉協議会)	日常生活自立支援事業 事業執行状況調査
令和元年10月17日(木)	補助団体等に関する監査 (町監査委員)	平成30年度事業、 決算監査
令和元年11月 6日(水) 7日(木)	外部監査 (木山会計事務所)	令和元年度中間監査
令和2年 1月21日(火)	日常生活自立支援事業に係る 市町村社会福祉協議会訪問調査 (県福祉サービス運営適正化委員会)	日常生活自立支援事業 事業執行状況調査

③職員研修、職員派遣

区分	回数	人数	主な内容
外部研修	135(117)	184(240)	県社協等主催研修会参加 認知症研修会、法人後見研修等
内部研修	79(87)	546(460)	職員全体研修会、各部署研修会等
職員派遣 (会議)	151(145)	249(248)	地域ケア会議、自立支援協議会等
職員派遣 (講師等)	12(11)	19(15)	町内小中学校福祉体験事業等
職員派遣 (災害支援)	0(0)	0(0)	

(2) 自主財源の確保

①会費

種 別	件 数 (件)	金 額 (円)
一 般 会 費	5,293 (5,296)	1,905,600 (1,906,680)
賛 助 会 費	585 (602)	1,296,000 (1,335,000)
合 計	5,878 (5,898)	3,201,600 (3,241,680)

②寄付

種 別	件 数 (件)	金 額 (円)
香 典 返 し	100 (113)	2,876,000 (3,390,000)
一 般 寄 付	10 (8)	303,150 (185,000)
合 計	110 (121)	3,179,150 (3,575,000)

※社協だより及びチラシ等を配布し社協事業にご理解いただくよう努めました。

(3) 赤い羽根共同募金運動の展開

①共同募金運動の推進（令和元年10月1日～12月31日）

募金総額 4,456,455円（4,536,642円）

[募金目標額 3,818,000円 達成率 116.7%]

募金種別	金 額 (円)	
戸別募金	3,221,400	(3,202,800)
大口・法人募金	1,049,000	(1,010,585)
職域募金	41,028	(50,550)
地域募金	23,431	(24,773)
学校募金	47,784	(59,302)
街頭募金	73,209	(188,129)
その他	603	(503)

②宮崎県共同募金委員会 門川町共同募金委員会業務

③「赤い羽根共同募金だより」の発行（令和2年3月）

(4) 財務状況の公開

社会福祉協議会の健全な経営を推進していくために、予算、決算状況を社協だより及びホームページにおいて公開しました。

(5) 情報公開制度の推進

①「社協だよりの発行【再掲】

②ホームページによる情報の提供。【再掲】

(6) 苦情解決への取り組み

本会の福祉サービスを適切に利用できるよう支援するために、苦情解決委員を選任しています。

(7) 施設管理

総合福祉センターの適正かつ円滑な管理に努めました。

総合福祉センター【指定管理者施設】

- ・開館日数 313日
- ・年間利用者数 20,511人（20,348人）
（内有料貸出 0回）

(8) 労務管理

- ①社会保険労務士の指導のもと、適正な労務管理に努めました。
- ②宮崎県の「仕事と家庭の両立応援宣言」に基づき、職員が働きやすい職場づくりを目指しました。
- ③労働安全衛生法に基づき、職員の心身の健康保持の為「ストレスチェック」を行いました。
(平成27年12月より従業員50人以上の事業所について義務化)

(9) 社会福祉充実計画（3年目）

- ①通所介護事業の送迎車輛の整備を行いました。
- ②職員に処遇改善の一時金を支給しました。

(10) 災害支援の取り組み

- ①延岡市竜巻等災害、佐賀県豪雨、千葉県災害、台風19号災害義援金活動に取り組みました。
 - ・福祉センター募金受付 103,474円（宮崎県共同募金会を通じて送金）